

2008年10月1日
在デトロイト総領事館

鹿との衝突事故に注意

9月30日付、デトロイトフリープレス紙、デイトンデイリーニュース紙はそれぞれミシガン州及びオハイオ州における鹿との衝突事故に関する記事を掲載しました。

2007年中にミシガン州では衝突事故数61,907件、死者数11名、負傷者1,614名、オハイオ州では衝突事故数26,304件、死者数11名、負傷者1,166名に上りましたが、(物損事故の) おおくが事故報告がされていないことから実際の衝突事故数はもっと多く、オハイオ州運輸局では6万件近いと言っています。

衝突事故は毎年10月から12月にかけて激増し、特に狩猟期間前のこの時期は個体数がピークにあり、ハンターのいない都市近郊にも沢山生息しています。

鹿との衝突は物損事故であっても大きな損害となり、Michigan Deer Crash Coalition の発表によれば、1車両当たり平均2,100ドル、ミシガン州では1年間に1億3,000万ドルの物損が発生しています。

両紙は鹿との衝突事故に関して以下の注意点を挙げています。

- 道路状況にあった速度で運転し、シートベルトを着用してください。
 - 鹿横断注意標識に気をつけて、注意標識のある路線では特に気をつけてください。
 - 衝突事故の約20%は明け方に発生し、約50%は午後5時から午前0時までの間に発生してことから、特に気をつけてください。
 - 対向車がなければハイビームにする。鹿の目が反射して発見しやすくなります。
 - 道路近くで鹿を見かけたら、他の鹿が後に続いていると思ってください。
 - 鹿と衝突しそうなきは急ハンドルで避けないでください。
 - 鹿と衝突しそうなきはブレーキをかけて停止するように心がけてください。
 - 周囲に走行車両がいて避けられず、止まりきれないときは、両手でハンドルをしっかり握ってブレーキを強くかけ、同乗者に警告し衝撃に備えてください。
- ★(当館注) 警察によれば「鹿との衝突を避けようとして急ハンドルを切り他の車両や樹木と衝突し、死傷の結果が生じている。時には、動物と衝突することが最も安全な選択になる場合もある。」としています。